

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接 交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又 は維持運営等措置	市道環状線舗装補修工事 <1>	群馬県沼田市	12,981,600	10,000,000	

(備考) 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道環状線舗装補修工事<1>	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		群馬県沼田市	
交付金事業実施場所		沼田市西倉内町地内	
交付金事業の概要		舗装補修工事 工事延長 L=215.0m W=8.70m 路面切削工・表層工(t=5.0cm) A=1,870.5㎡ 区画線工 一式	
総事業費	12,981,600	交付金充当額	10,000,000
		うち文部科学省分 うち経済産業省分	10,000,000
交付金事業の成果目標	<p>当該路線は、国道120号線から県道沼田停車場線を経由し、沼田IC・尾瀬片品方面へ結ぶ環状路線であり、生活道路として、また、沼田市街地の迂回路として重要な路線である。開通後10年以上が経過し、交通量の増加に伴い路面の損傷が甚だしい。</p> <p>損傷により、雨天時の水はねの原因や除雪作業の妨げにもなり、車両や歩行者の通行に危険な状況も発生している。市職員が直営対応する小規模な修繕頻度も増加している。今後、地域住民からの苦情も増加する可能性もあり、早急に補修が必要である。</p> <p>そのため、舗装補修工事を実施し、利便性、安全性を確保するものである。</p>		
交付金事業の成果指標	<p>舗装補修工事を実施し、轍掘れ等が解消されることにより、車両の通行がスムーズになるため安全性が向上し、騒音や振動が減少する。そのため、住民の利便性が向上し、苦情が寄せられるような状態を未然に防ぐことができる。また、発注工事として補修することにより、市職員で行う小規模修繕の頻度も減少する。併せて、施工予定区間は、地元小学校付近で児童の通学路となっていることから、区画線の引き直しにより、横断歩道等の視認性が改善され車両走行や歩行時の安全が図られる。</p> <p>本年度は、補修延長215m補修面積1,870.5㎡実施し、補修率52%を目標とし、地域住民等から工事後の通行に対する意見を聴取し、安全性が確保されたか評価を行う。</p> <p>(H29までの舗装補修実施予定延長435m／舗装補修全体延長835m)</p>		
交付金事業の成果及び評価	<p>本交付金の活用により、本年度は延長215m、面積1,870.5㎡の舗装補修工事を実施した。</p> <p>舗装補修工事を実施した区間においては、轍掘れやひび割れを解消したことはもとより、横断勾配を確保できたことにより、雨水の水はねや冬期の路面凍結防止につながり、車輛走行時の安全が図られた。</p> <p>H29年度事業実施により当該路線の路面舗装補修率は52%に達した。地域住民からも道路の平坦性が向上し通行時の騒音や、雨天時の水はねが減少したという声が寄せられ、安全性及び地域の生活環境の向上が図られたと評価できる。</p>		

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
舗装補修工事	条件付一般競争入札	阿部土建株式会社	12,981,600
計			12,981,600
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H32

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

- (2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。
- (4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
- (5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
- (6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
- (7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接 交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	市道高平・尾合線舗装補 修工事<1>	群馬県沼田市	4,266,000	3,000,000	

(備考) 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道高平・尾合線舗装補修工事<1>	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		群馬県沼田市	
交付金事業実施場所		沼田市白沢町尾合地内	
交付金事業の概要		工事延長 L=190m W=6.25m オーバーレイ工 t=3cm A=1187.5m ² レベリング工 V=8.0m ³ 区画線工 一式	
総事業費	4,266,000	交付金充当額	3,000,000
		うち文部科学省分 うち経済産業省分	3,000,000
交付金事業の成果目標	<p>当該路線は、国道120号線から主要地方道沼田・大間々線を結ぶ、白沢町管内における主要路線であり、地域の生活道路としても重要な路線である。近年の交通量の増加により路面の損傷が著しい。損傷により、雨天時の水はねの原因や除雪作業の妨げにもなり、車両や歩行者の通行に危険な状況も生じている。今後地域住民からの苦情も増加する可能性もあり、早急に補修が必要である。</p> <p>そのため、舗装補修工事を実施し、利便性、安全性を確保する。</p>		
交付金事業の成果指標	<p>舗装補修工事を実施し、轍掘れやひび割れ、欠損等が解消されることにより、車両の通行がスムーズになるため安全性が向上し、騒音や振動が減少する。</p> <p>そのため、住民の利便性が向上し、苦情が寄せられるような状態を未然に防ぐことができる。また、発注工事として補修することにより、市職員で行う小規模修繕の頻度も減少する。</p> <p>本年度は、補修延長190m補修面積1,187.5m²を実施し、補修率80%を目標とし、地域住民等から工事後の通行に対する意見を聴取し、安全性が確保されたか評価を行う。</p> <p>(H29までの舗装補修実施予定延長898m／舗装補修全体延長1,118m)</p>		
交付金事業の成果及び評価	<p>本交付金の活用により、本年度は延長190m、面積1,187.5m²の舗装補修工事を実施した。</p> <p>本事業によって舗装の補修が継続して行われたことにより、路面の轍やクラックを解消することができ、車両の通行がスムーズとなり、除雪作業時の安全も確保された。</p> <p>H29年度事業実施により本路線の補修率は80%に達し、地元区長からも道路の平坦性が向上し、通行時の安全が確保されたとの意見が寄せられ、事業目的は達成したと評価できる。</p>		

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
舗装補修工事	指名競争入札	目黒建設有限会社	4,266,000
計			4,266,000
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H31

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接 交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	市道南郷赤城山線舗装補 修工事<1>	群馬県沼田市	6,264,000	5,000,000	

(備考) 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道南郷赤城山線舗装補修工事<1>	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		群馬県沼田市	
交付金事業実施場所		沼田市利根町日影南郷地内	
交付金事業の概要		工事延長 L=140m W=7.05~7.35m 路面切削工 t=4cm A=646.1m ² 基層工 t=4cm A=359.9m ² 表層工 t=5cm A=1,006.0m ² 区画線工 一式	
総事業費	6,264,000	交付金充当額	5,000,000
		うち文部科学省分 うち経済産業省分	5,000,000
交付金事業の成果目標	<p>当該路線は、主要地方道沼田・大間々線と県道沼田赤城線とを繋ぐ幹線道路であるが、車両通行も多く、路面の損傷(轍掘れや陥没などの段差)が著しく、通行に支障をきたすおそれが生じている。また、雨天時の水はねの原因や除雪作業の妨げにもなり、車両や歩行者の通行に大変危険な状況も発生している。</p> <p>そのため、地域住民からの苦情も増加する可能性もあることから、舗装補修工事を実施し、地域住民の利便性・安全性を確保する。</p>		
交付金事業の成果指標	<p>舗装補修工事を実施し、轍掘れや陥没などの段差が解消されることにより、車両の通行がスムーズになるため安全性の向上が図られる。そのため、住民の利便性が向上し、苦情が寄せられるような状態を未然に防ぐことができる。</p> <p>また、発注工事として補修することにより、市職員が直営対応する小規模修繕の頻度も減少する。</p> <p>本年度は、補修延長140m補修面積1017.0m²を実施し、補修率51%を目標とし、地域住民等から工事後の通行に対する意見を聴取し、安全性が確保されたか評価を行う。</p> <p>(H29までの舗装補修実施予定延長140m/舗装補修全体延長270m)</p>		
交付金事業の成果及び評価	<p>本交付金の活用により、本年度は延長140m、面積1,006.0m²の舗装補修工事を実施した。</p> <p>舗装補修工事を実施した区間においては、轍掘れやひび割れを解消したことはもとより、横断勾配を確保できたことにより、雨水の水はねや冬期の路面凍結防止につながり、車輛走行時の安全が図られた。</p> <p>H29年度事業実施により当該路線の路面舗装補修率は51%に達した。地域住民からも道路の平坦性が向上し通行時の騒音や、雨天時の水はねが減少したという声が寄せられ、安全性及び地域の生活環境の向上が図られたと評価できる。</p>		

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
舗装補修工事	指名競争入札	有限会社丸星建設	6,264,000
計			6,264,000
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H31

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接 交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	保育園運営事業	沼田市	23,557,500	12,267,000	

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	地域活性化措置	保育園運営事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		沼田市	
交付金事業実施場所		沼田市 東原新町地内 上原町地内 下川田町地内 白沢町高平地内 利根町大楊地内	
交付金事業の概要	沼田市立保育園5園(ぬまた南保育園、ぬまた東保育園、川田保育園、白沢保育園、利根保育園)の園長5名、保育士17名、調理員3名、合計25名の職員人件費(7月～9月給料)。		
総事業費	23,557,500	交付金充当額	12,267,000
		うち文部科学省分	
		うち経済産業省分	12,267,000
交付金事業の成果目標	共働き世帯の増加及び核家族化の進行に伴い、現代社会において保育園は必要不可欠なものである。さらに、市立保育園は、健全な幼児保育を実施していく上で、地域の子育て拠点としての存在意義や私立に対する指導的立場などからも、その役割は非常に大きく、必要性が高いため、今後もその役割を果たしていくべきである。		
交付金事業の成果指標	平成29年3月現在、市立保育園に入園を希望したものの入園できない状態である児童、いわゆる待機児童はいないが、多様な保育ニーズを的確に捉え、待機児童ゼロを維持していく必要がある。 成果指標:待機児童数 平成29年度の目標0人(維持)		
交付金事業の成果及び評価	<p>本交付金の活用により、当該5保育園の正規職員人件費3か月分を確保することができた。その成果として、適正な職員人数の確保及び安定した保育園運営を実施することができ、市民が安心して利用できる保育園としての役割を果たすことができた。</p> <p>しかし、成果指標に掲げた「待機児童ゼロの維持」については、10月1日時点で0歳児の待機児童が4名(うち市立保育園希望者は2名)発生し、現在も解消できておらず、目標を達成することができなかった。0歳児の入園希望者は、共働き世帯の増加等により年々増加傾向にあることや需要に対して受け皿が不足していること(※市立保育園は5園中2園が受け入れ可能)が要因として考えられる。</p> <p>本市では、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込み、提供体制の確保など事業の円滑な実施を図るため、平成27年度から平成31年度を計画期間として「沼田市子ども・子育て支援事業計画」を策定しており、認定こども園への移行促進、認可保育所の定員増、地域型保育の設置に努めることとしている。今後も引き続き取り組み、条件の合致した希望者が全員入園できる状態(「待機児童ゼロ」)を目指したい。</p>		

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
職員人件費			23,557,500
計			23,557,500
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H34

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載